味の素株式会社
デジタル食事改善プログラム

サービス概要 (イメージ)

「デジタル食事改善プログラム」

メインコンテンツ

しっかり食べチェック®13品目・
生活改善タスク

食事状態を知る（意識変容）

食事チェック → 生活改善タスク → アドバイス → おすすめ食品 → 食事チェック

食習慣改善（行動変容）

＋

オプションの提供

- 味の素社商材
- 地場商材
- 運動コンテンツ

など

連携団体を含む、実証の座組

味の素株式会社 ⇔ 連携

連携自治体、研究機関

- 春日井市（実証フィールド） FY24から連携
- 国立長寿医療研究センター 大塚礼先生（実証研究の監修） FY24から連携

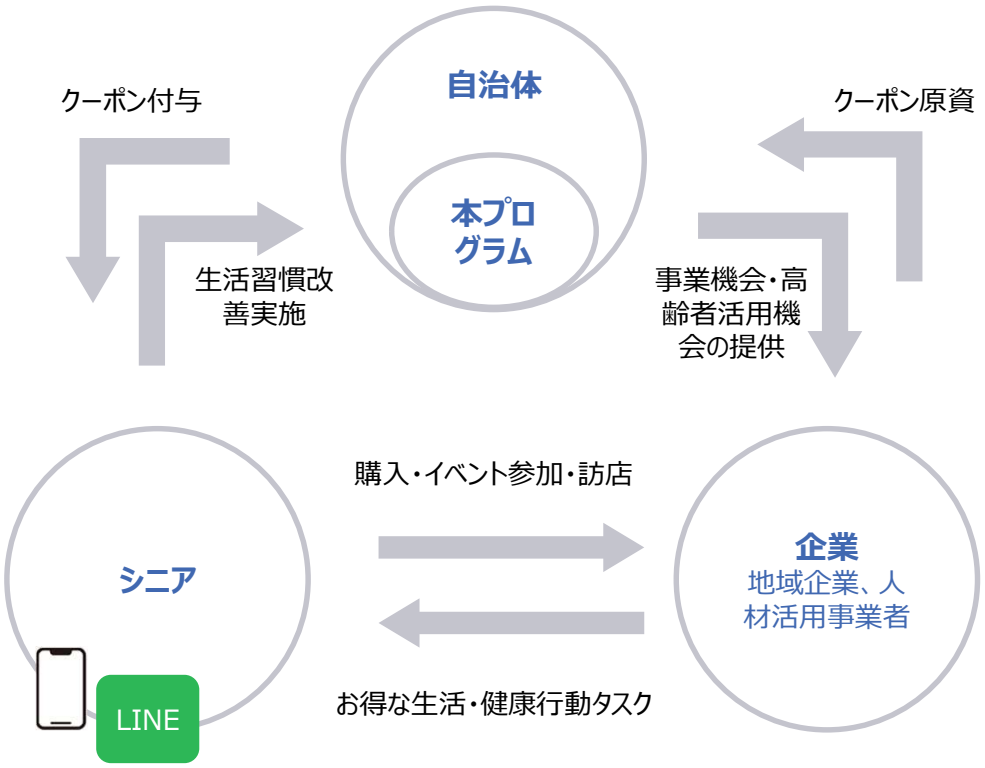
要時委託

- 顧客ヒアリング
- システム設計
- エビデンス取得

検討段階
- 運動コンテンツ提供会社様（可能であれば地場の企業様）
- 地場食品の会社様

味の素株式会社
デジタル食事改善プログラム

社会実装時の事業モデル



今年度の実証項目 (昨年度の実証成果含)

①昨年度の実証成果
・3箇月のプログラム継続率100%（65歳以上の春日井市住民66名）
・プログラム全体の満足度（大変よかった・よかった）92.5%
«行動変容»
・食品摂取多様性得点が増加（*）
«意識変容»
・"たんぱく質を摂る"についてプログラム参加前後で増加（*）
«健康アウトカムへの影響»
・低栄養者の割合が半減（定義：食材多様性得点3点以下を低栄養）
・認知機能の改善（反応速度・注意力スコア）
（*）統計学的に意味のある増加（有意な増加）
→課題：有償の場合の受容性
顧客インサイトを踏まえたサービスのアップデート、当社技術活用

②誰に対して
介護予備群（プレフレイル・フレイル）の高齢者

③期間、④何を検証するのか、⑤どのような実証を行うのか
i）顧客課題の調査
③上半期、④CPF/PSF検証（iiiと併せて）、⑤定性調査

ii）プログラムのアップデート
③上半期、④i）を踏まえたFY24アップデート、⑤iii）にて実証

iii）プログラムプロトタイプを用いた実証
③上～下半期、④購買・継続意向検証、⑤小規模実証
その他、データ連携基盤接続に向けたシステム構築、i）～iii）で必要と判断した場合は追加エビデンスの取得を進める。